

【課題シート】

基本理念：人を育て、人が輝くための教育

教育目的（ビジョン）：未来を切り拓く「人間力」の育成

基本方針（1） 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます

案〔新〕「重点施策（1）社会の変化に応える確かな学力の育成」についての課題

〔旧〕「重点目標 学力向上の取組みの推進」

<p>1 国、府、市の方向性及び社会動向</p>	<p><国 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校教育の質と多様性、包摂性を高め、教育の機会均等を実現する <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの資質・能力をより一層確実に育むため、基礎学力を保障してその才能を十分に伸ばし、社会性等を育むことができるよう、学校教育の質を高める ・学校に十分な人的配置を実現し、1人1台端末や先端技術を活用しつつ、多様化する子供たちに対応して個別最適な学びを実現しながら、学校の多様性と包摂性を高める ○これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現する <ul style="list-style-type: none"> ・ICTや先端技術の効果的な活用により、新学習指導要領の着実な実施、個別に最適な学びや支援、可視化が難しかった学びの知見の共有等が可能 ○履修主義・修得主義等を適切に組み合わせる <ul style="list-style-type: none"> ・修得主義や課程主義は、個人の学習状況に着目するため、個に応じた指導等に対する寛容さ等の特徴があるが、集団としての教育の在り方が問われる面は少ない ・義務教育段階においては、進級や卒業の要件としては年齢主義を基本としつつも、教育課程の履修を判断する基準としては履修主義と修得主義の考え方を適切に組み合わせ、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」との関係も踏まえつつ、それぞれの長所を取り入れる ・これまで以上に多様性を尊重、ICT等も活用しつつカリキュラム・マネジメントを充実 <p><国 中央教育審議会教育振興基本計画部会 参考資料10></p> <p>今後の教育政策に関する基本的な方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本社会に根差したウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育の推進 ○グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成 ○教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進 <p><大阪府教育振興基本計画審議会 参考資料11></p> <p>基本方針1 確かな学力の定着と学びの深化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての学びの基礎となる確かな学力を定着させ、自ら考え将来を生き抜く力を育成します。 ・国際社会で活躍する人材の育成や学び直しの提供など、多様化するニーズに応じた学びを実現します。 ・個々の障がいの状況に応じた合理的配慮を的確に行うとともに、子どもたちの多様性や教育ニーズに適切に対応した学びを提供します。 <p><松原市第5次総合計画></p> <p>基本方針6 学校・保護者・地域の連携により魅力ある教育環境をつくります</p> <p>施策15 魅力ある学校園づくり</p>
<p>2 市のこれまでの取組み成果と今後の対応 (参考資料：令和3年度実績教育に関する事務点検評価結果報告書)</p>	<p>【これまでの取組みのあらまし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策のために発表したり交流したりする活動を抑制した結果、学力向上アクションプランでの質問では、自分の考えを発表する機会が低下傾向にあります。また、特に小学生においては、家庭での学習の維持に難しさが見られることから、学校の授業以外での勉強時間に課題が表れています。しかしながら、コロナ禍による困難な状況下にも関わらず、全国学力・学習状況調査の平均正答率は、大阪府と同じ程度（小学校66.0%、中学校59.0% 令和3年度実績）の推移を維持していることから、学校での授業における工夫が進んできています。 <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の課題に合わせ、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、乳幼児とのふれあいや、情報モラルについての学び、総合学習のゲストティーチャー等、計画的に地域・保護者との連携を深めながら教育活動を推進することができました。 ・ICT機器や学習支援ソフトを活用するための研修を各校で企画・実施したほか、各校の実態に合わせて、個に応じた指導の充実と改善を推進することができました。 <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な制限がある中で学校・地域・保護者が連携を深めていけるよう、好事例の収集・発信に取り組んでいきます。 ・「学力向上アクションプラン」の策定や、学力向上のための取組み、ICTを活用した授業づくりを継続し、教育・研究活動の質の向上と子どもたちの資質・能力の向上に努めます。
<p>3 市民意識調査アンケート・子どもアンケート調査結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・力を入れるべき教育施策や教育事業については、「必要である」の割合が高いのは『子どもの学習意欲が高まる授業づくりを工夫する』 問9 ・新型コロナウイルス感染拡大の状況下における松原市の子どもたちの教育について不安を感じていることは、「子どもたちの健康状態や体力の低下」の割合が42.7%と最も高く、「子どもたちの学力の低下」の割合が35.1% 問13

(資料5)

	<ul style="list-style-type: none"> 松原市の教育の課題については、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が31.9%と最も高く、次いで「子どもたちの学力の低下」の割合が28.7% 	問14
	<ul style="list-style-type: none"> 勉強については、“好き”の割合が44.7%、“好きではない”の割合が54.7% 勉強が好きではない理由については、「勉強のやり方がわからない」の割合が42.2%と最も高く、「勉強の内容が理解できない」の割合が41.8%、「授業がおもしろくない」の割合が40.2% 	子ども問4、5
	<ul style="list-style-type: none"> 授業や勉強をがんばることで、どのようなよいことがあると思うかについては、「新しいことを知ることができる」の割合が69.4%と最も高く、「いろいろな考え方ができるようになる」の割合が54.8%、「友だちと協力して行動できるようになる」の割合が47.6% 	子ども問6
	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業に関して、外国語の授業はよくわかるかについては、“当てはまる”の割合が65.7%、“当てはまらない”の割合が32.6% 	子ども問8.3
	<ul style="list-style-type: none"> 学校等への要求については、「先生は、わたしの学力がどれくらいなのかを教えてください；先生は、授業中、グループで話し合う時間をもっと多くってほしい」の割合が41.9%と最も高く、「先生は、興味を持てるような学習をたくさん教えてください」の割合が40.6%、「先生は、勉強をわかりやすく教えてください」の割合が34.6% 	子ども問15
<p>4 対処すべき課題 (上記1、2、3を踏まえ4を設定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、発表したり交流したりする活動の機会が減少する中、アンケート調査においても、「子どもたちの健康状態や体力の低下」や「子どもたちの学力の低下」に不安を感じる割合が高くなっています。感染症予防対策を講じながら、学びに向かう力を養うため、学校園での取組みの充実とともに、家庭学習や基本的な生活習慣の確立に向け、計画的に地域・保護者との連携を深めながら教育活動を推進することが必要です。 全国学力・学習状況調査の平均正答率は、大阪府と同じ程度（小学校66.0%、中学校59.0% 令和3年度実績）の推移を維持していますが、引き続き、生きて働く知識・技能の習得とともに、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成といった「確かな学力」を育むため、「学力向上アクションプラン」の策定等、学校園全体で組織的・計画的にさまざまな学力向上の取組を進める必要があります。 ICT 機器や学習支援ソフトを活用するための研修を各校で企画・実施したほか、各校の実態に合わせて、個に応じた指導の充実と改善を推進していますが、引き続き、これまでの実践とICTを活用しながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現をしていく必要があります。 	
<p>5 課題に対応した取組案</p>		

基本理念：人を育て、人が輝くための教育

教育目的（ビジョン）：未来を切り拓く「人間力」の育成

基本方針（1） 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます

「重点施策（2）豊かでたくましい人間性の育み」についての課題

<p>1 国、府、市の方向性及び社会動向</p>	<p>＜国 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して＞</p> <p>○これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による対面指導や子供同士による学び合い、多様な体験活動の重要性が一層高まる中で、ICTを活用しながら協働的な学びを実現し、多様な他者とともに問題発見・解決に挑む資質・能力を育成 <p>○履修主義・修得主義等を適切に組み合わせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修主義や年齢主義は、集団に対し、ある一定の期間をかけて共通に教育を行う性格を有し、一定の期間の中で、個々人の成長に必要な時間のかかり方を多様に許容し包含する一方、過度の同調性や画一性をもたらす可能性 <p>○感染症や災害の発生等を乗り越えて学びを保障する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休業時等であっても、関係機関等との連携を図りつつ、子供たちと学校との関係を継続し、心のケアや虐待の防止を図り、子供たちの学びを保障する ・感染症に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さない <p>＜国 中央教育審議会教育振興基本計画部会 参考資料10＞</p> <p>今後の教育政策に関する基本的な方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本型ウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育 ○グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成 <p>＜大阪府教育振興基本計画審議会 参考資料11＞</p> <p>基本方針2 豊かな心と健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さや他者への思いやり、相手を尊重し認め合う心を学ぶことにより、豊かな心や人権意識をはぐくみます。 ・専門家や福祉機関等とも連携し、いじめや不登校等の子どもたちが抱える問題の解決、ヤングケアラーへの支援に取り組みます。 ・より良い運動習慣や生活習慣の定着を通して、健やかな体を育成します。 <p>基本方針3 将来をみすえた自主性・自立性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の質を向上させ、学校教育との円滑な接続を図ります。 ・実社会とつながるキャリア教育を幼児教育から高校での教育まで一貫して推進し、粘り強くあきらめない自主性・自立性を育成します。 <p>＜松原市第5次総合計画＞</p> <p>基本方針6 学校・保護者・地域の連携により魅力ある教育環境をつくります</p> <p>施策15 魅力ある学校園づくり</p>
<p>2 市のこれまでの取組み成果と今後の対応 (参考資料：令和3年度実績教育に関する事務点検評価結果報告書)</p>	<p>【これまでの取組みのあらまし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査児童・生徒質問紙調査では、特に、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童・生徒の割合においては、高い水準を維持することが出来ました。しかし、自分には、よいところがあると思ふ児童・生徒の割合の小学校においては、新型コロナウイルス感染症予防対策の影響（学校内外での活動制限など）からか、低下する傾向が続いており、引き続き、ひとりひとりの子どもたちの居場所を大切に生徒指導と子どもたちが自分自身の生き方を見つめ考えるキャリア教育の取組みを進めて行く必要があります。 <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の充実・強化では、チームで行う支援の充実に向けて、関係諸機関との連携のもと、ケース会議等の実施、総合的なネットワークを構築し、開かれた生徒指導体制づくりに取り組むことができました。 ・ケースに応じて教育相談員が学校のサポートに回りアドバイスを行うことで、学校の指導に専門性や多角的な視点を加えることができました。 ・キャリア教育の充実では、教育活動全体を通じて、キャリア教育の視点で学校教育活動を充実させることができました。特に児童・生徒が自己肯定感や自己有用感をもって、自らの生き方についての夢や希望を育むことができる取組みを推進することができました。 ・就学前教育の充実では、キンダーカウンセラーを配置し、園児だけでなく、子育てや指導方法に悩みや不安を抱える保護者や教職員への相談活動を継続して行うことができ、様々な子ども及び保護者たちの心のケアを行うことができました。 <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のニーズに合った人員の派遣をスムーズに効率的に行うため、連絡、相談がしやすい組織体制づくりを強化するなど、今後も取組みを継続していきます。 ・スクールソーシャルワーカー育成のため、今後も取組みを継続していきます。 ・コロナ禍において、キャリア教育の中心的な取組みの一つであった職場体験の開催が難しくなっています。そのため、職場体験に代わる体験活動を模索するなど、必要に応じて、今後は取組みを見直していきます。 ・キンダーカウンセラーによる教育相談についてはニーズ、成果ともに高く、より相談しやすい環境整備のために、今後も取組みを継続します。

(資料5)

3 市民意識調査アンケート・子どもアンケート調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの将来像については、「まわりの人に思いやりがある人」の割合が57.0%と最も高く、次いで「規則を守り、他人に迷惑をかけない人」の割合が42.4%、「自分の意思を適切に表現できる人」の割合が30.4%、「家族を大切にしている人」の割合が27.2% 	問7
	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育で身につけるべき能力や態度については、身につけており、重要性も高い項目として、「善悪を判断する力」「他者に対する理解と思いやりや優しさ」「人間関係を築く力」など。一方、身につけていないが、重要性は高い項目として、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」。 	問8
	<ul style="list-style-type: none"> 力を入れるべき教育施策や教育事業については、「必要である」の割合が高いのは『悩みがある場合、専門家に気軽に相談できる体制をつくる』『いじめや不登校等の未然防止に関する生徒指導の充実を図る』 	問9
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の状況下における松原市の子どもたちの教育について不安を感じていることは、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が31.6% 	問13
	<ul style="list-style-type: none"> 松原市の教育の課題については、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が31.9%と最も高く、「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が22.8% 	問14
	<ul style="list-style-type: none"> 『いろいろなことにチャレンジする』については、「思う」の割合が67.7%、「思わない」の割合が24.4% 『自分にはよいところがある』については、「思う」の割合が62.3%、「思わない」の割合が22.2% 	子ども問9
	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢があるかについては、「ある」の割合が38.5%と最も高く、「なんとなくある」の割合が35.3%、「ない」の割合が24.9% 	子ども問10
	<ul style="list-style-type: none"> 将来の生き方については、「今、自分が好きだと思えることを将来も続けていけるように努力していきたい」の割合が74.6%と最も高く、「家族を大事にする生き方をしていきたい」の割合が51.8%、「人のために役立つような活動をしたり、仕事をしたりしたい」の割合が49.2% 	子ども問11
	<ul style="list-style-type: none"> 先生や自分については、「先生は、わたしの学力がどれくらいなのかを教えてください」との割合が41.9%と最も高く、「先生は、興味を持てるような学習をたくさん教えてください」との割合が40.6%、「わたしは、友だちと協力して何でも相談しあえる学級にしたい」との割合が37.9% 	子ども問16
	<ul style="list-style-type: none"> 自分だけが使う携帯電話やスマートフォンについては、「持っている」の割合が85.0% 	子ども問17
	<ul style="list-style-type: none"> 心配なことや悩みについては、「ある」の割合が54.5% 	子ども問20
	<ul style="list-style-type: none"> 心配なことや悩みの内容については、「進路や成績のこと」の割合が53.1%と最も高く、「学校での人間関係のこと」の割合が37.6%、「新型コロナウイルスのこと」の割合が15.8% 	子ども問21
	<ul style="list-style-type: none"> 心配なことや悩みの相談相手については、「だれもいない」の割合が18.0% 	子ども問22
<ul style="list-style-type: none"> 自分の親や家族に対して望むことについては、「おこったり、口うるさく言ったりしないでほしい」の割合が39.5%と最も高く、「他人やきょうだいなどと比べないでほしい」の割合が29.2%、「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が26.1% 	子ども問30	
4 対処すべき課題 (上記1、2、3を踏まえ4を設定)	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査児童・生徒質問紙調査では、特に、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童・生徒の割合において、高い水準を維持することが出来ましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況下における松原市の子どもたちの教育について不安を感じていることは、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が高く、松原市の教育の課題については、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が31.9%と最も高く、力を入れるべき教育施策や教育事業について、『悩みがある場合、専門家に気軽に相談できる体制をつくる』『いじめや不登校等の未然防止に関する生徒指導の充実を図る』などが挙がっています。今後も「いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止を第一に、発生した際の早期発見・早期対応に取り組んでいくことが必要です。 学校教育で身につけるべき能力や態度については、身につけており、重要性も高い項目として、「善悪を判断する力」「他者に対する理解と思いやりや優しさ」「人間関係を築く力」などとなっている一方、身につけていないが、重要性は高い項目として、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」が挙げられています。子どもたちの規範意識、自尊感情、主体的に判断し適切に行動する力を育てるための道徳教育、人権教育が重要です。 キャリア教育の充実では、児童・生徒が自己肯定感や自己有用感をもって、自らの生き方についての夢や希望を育むことができる取組みを推進することができましたが、コロナ禍において、職場体験の開催が難しくなっていることから、職場体験に代わる体験活動などの検討が必要です。 就学前教育の充実では、キンダーカウンセラーを配置し、園児だけでなく、子育てや指導方法に悩みや不安を抱える保護者や教職員への相談活動を継続して行うことができました。今後もキンダーカウンセラーによる教育相談についてはニーズ、成果ともに高く、より相談しやすい環境整備のために、取組みの継続が必要です。 	

5 課題に対応した取組案

基本理念：人を育て、人が輝くための教育

教育目的（ビジョン）：未来を切り拓く「人間力」の育成

基本方針（2） 安心・安全に学ぶことができる学校園づくりを推進します

「重点施策（1）安心・安全な学校園づくりの推進」についての課題

<p>1 国、府、市の方向性及び社会動向</p>	<p><国 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して> ○感染症や災害の発生等を乗り越えて学びを保障する ・今般の新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、新たな感染症や災害の発生等の緊急事態であっても必要な教育活動の継続 ・「新しい生活様式」も踏まえ、子供の健康に対する意識の向上、衛生環境の整備や、新しい時代の教室環境に応じた指導体制、必要な施設・設備の整備 ・臨時休業時等であっても、関係機関等との連携を図りつつ、子供たちと学校との関係を継続し、心のケアや虐待の防止を図り、子供たちの学びを保障する <国 中央教育審議会教育振興基本計画部会 参考資料10> 今後の教育政策に関する基本的な方針 ○計画の実効性確保のための基盤整備・対話 <大阪府教育振興基本計画審議会 参考資料11> 基本方針6 学びを支える環境整備 ・安全・安心の確保やユニバーサル・デザイン、環境配慮の観点を加えた学校施設の整備をめざします。 <松原市第5次総合計画> 基本方針6 学校・保護者・地域の連携により魅力ある教育環境をつくります 施策15 魅力ある学校園づくり</p>
<p>2 市のこれまでの取組み成果と今後の対応 <small>（参考資料：令和3年度実績教育に関する事務点検評価結果報告書）</small></p>	<p>【これまでの取組みのあらまし】 ・恵我小学校及び松原中学校のトイレ改修工事が完了したことで、トイレの洋式化率が上昇しました。 ・衛生管理等を徹底した結果、給食を停止することなく、松原市内の小・中学校の児童・生徒に、安心・安全な学校給食を提供できました。 【取組みの成果】 ・学校ICT機器等整備では、令和2年中に配備を完了した端末について、授業等で有効に活用できるよう整備しました。 ・各小学校空調機の設置については、故障し、部品交換のできない天美南小学校及び天美西小学校の職員室及び校長室の空調機を更新しました。 ・各小中学校のトイレについては、洋式化率の低い恵我小学校及び松原中学校のトイレを改修することで、洋式化率がそれぞれ23.5%から45.9%に、14.1%から43.6%に、全体では、39.6%から42.7%にそれぞれ改善しました。 ・セーフスクールの推進については、松原中学校区、松原第二中学校区、松原第三中学校区、松原第五中学校区、松原第六中学校区において新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底しながらISS（インターナショナルセーフスクール）の現地審査を行いました。学校・保護者・地域・行政が連携し、安心、安全な学校・校区づくりに協働で取り組んだことが評価され、日本初の全校認証を取得することができ、合同認証式を実施することができました。 ・公立幼保連携型認定こども園建設については、令和3年4月1日より松原市立幼保連携型認定こども園わかばこども園が開園しました。 ・新たな幼保連携型認定こども園建設のため、用地確保の取組みを始めました。 ・市立小学校セーフティスクールサポート事業については、平成16年より校門に管理員を配備し、受付対応することで不審者の侵入を未然に防止するよう対策し、安全な学習環境を確保できています。 【今後の対応】 ・児童・生徒がGIGA端末を最大限に活用できるよう、インターネット環境等を整備していきます。 ・各小中学校のトイレの洋式化は、引き続き、整備を進めていきます。 ・空調設備については、令和2年度に普通教室の設置率が100%となったものの、校長室や職員室、ランチルームや総合学習室などに設置した空調機についてかなりの年数が経過し、故障の際、部品の交換ができない恐れがあり、引き続き入れ替えを進めていきます。 ・セーフスクール推進については、令和3年度に市内全校認証を取得した成果をいかし、全校において今後も継続して安心・安全な学校づくりを進めていきます。 ・公立幼保連携型認定こども園建設事業については、令和7年度に新たな幼保連携型認定こども園を建設します。 ・市立小学校セーフティスクールサポートについては、児童の安全な学習環境を確保する為、今後も継続して学校への不審者侵入の未然防止に努めます。</p>
<p>3 市民意識調査アンケート・子どもアンケート調査結果</p>	<p>・学校園教育における現在の取組みについては、“そう思わない”の割合が高いのは『小学校・中学校の施設・設備が充実している』 問6 ・力を入れるべき教育施策や教育事業については、“必要である”の割合が高いのは『防災・防犯教育を充実し、安心安全な学校づくりを推進する』 問9</p>

(資料5)

	<ul style="list-style-type: none">•小学6年生の人の中学校に進学するときに不安に思うことについては、「授業がむずかしくなること」の割合が76.3%と最も高く、「上級生との関係」の割合が54.2%、「友だちができるかどうか」の割合が52.9%	子ども 問36
4 対処すべき 課題 (上記1、2、3 を踏まえ4を設定)	<ul style="list-style-type: none">•各小中学校のトイレ改修工事、空調機の設置、ICT機器等整備について計画的に整備をすすめていますが、学校園教育における現在の取組みについては、“そう思わない”の割合が高いのは『小学校・中学校の施設・設備が充実している』となっています。今後も引き続き、インターネット環境等も含め整備を進めていくことが必要です。•市立小学校セフティスクールサポート事業により、受付対応することで不審者の侵入を未然に防止するよう対策し、安全な学習環境を確保できていますが、力を入れるべき教育施策や教育事業については、“必要である”の割合が高いのは『防災・防犯教育を充実し、安心安全な学校づくりを推進する』となっています。自ら身を守る能力や態度を育成する防犯教育とともに、児童の安全な学習環境を確保する為、今後も継続して学校への不審者侵入の未然防止が重要です。	
5 課題に対応した取組案		

基本理念：人を育て、人が輝くための教育

教育目的（ビジョン）：未来を切り拓く「人間力」の育成

基本方針（2） 安心・安全に学ぶことができる学校園づくりを推進します

案〔新〕「重点施策（2）持続可能な学校園運営体制の充実と教職員の資質向上」についての課題

〔旧〕「重点目標 学校園運営体制の充実と教職員の資質向上」

<p>1 国、府、市の方向性及び社会動向</p>	<p><国 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して></p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携・分担による学校マネジメントを実現する <ul style="list-style-type: none"> ・校長を中心に学校組織のマネジメント力の強化を図るとともに、学校内外との関係で「連携と分担」による学校マネジメントを実現 ・外部人材や専門スタッフ等、多様な人材が指導に携わることのできる学校の実現、事務職員の校務運営への参画機会の拡大、教師同士の役割の適切な分担 ○これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現する <ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想の実現を最大限生かし、教師が対面指導と遠隔・オンライン教育とを使いこなす（ハイブリッド化）ことで、様々な課題を解決し、教育の質を向上 ○履修主義・修得主義等を適切に組み合わせる <ul style="list-style-type: none"> ・これまで以上に多様性を尊重、ICT等も活用しつつカリキュラム・マネジメントを充実 ○感染症や災害の発生等を乗り越えて学びを保障する <ul style="list-style-type: none"> ・首長部局や保護者、地域と連携・協働しつつ、率先して課題に取り組み、学校を支援する教育委員会の在り方について検討 ○社会構造の変化の中で、持続的で魅力ある学校教育を実現する <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や人口減少等で社会構造が変化する中、学校教育の持続可能性を確保しつつ魅力ある学校教育の実現に向け、必要な制度改正や運用改善を実施 <p><国 中央教育審議会教育振興基本計画部会 参考資料10></p> <p>今後の教育政策に関する基本的な方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本社会に根差したウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育の推進 ○地域や家庭と共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進 ○教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進 ○計画の実効性確保のための基盤整備・対話 <p><大阪府教育振興基本計画審議会 参考資料11></p> <p>基本方針1 確かな学力の定着と学びの深化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の障がいの状況に応じた合理的配慮を的確に行うとともに、子どもたちの多様性や教育ニーズに適切に対応した学びを提供します。 <p>基本方針5 力と熱意を備えた教員と学校組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職を魅力あるものとし、熱意ある優秀な教員を計画的に確保・育成します。 ・多様な機関や人材と連携した学校経営、学校組織づくりを進めます。 ・働き方改革により、子どもたちに向き合う時間や、自己研鑽、ワークライフバランスの充実に充てる時間を創出し、指導力やモチベーションの向上に繋がります。 <p><松原市第5次総合計画></p> <p>基本方針6 学校・保護者・地域の連携により魅力ある教育環境をつくります</p> <p>施策15 魅力ある学校園づくり</p>
<p>2 市のこれまでの取組み成果と今後の対応 (参考資料：令和3年度実績教育に関する事務点検評価結果報告書)</p>	<p>【これまでの取組みのあらまし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査児童・生徒質問紙調査では、授業の内容がわかる児童・生徒の割合については、特に中学校において、授業改善の効果が見られました。また、市主催研修が充実していたと考える参加者の割合については、新型コロナウイルス感染症予防対策のためにオンラインなどの研修形態を導入し、高い割合を維持することができました。 ・一方で、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる学校の割合については、コロナ禍で学校を取り巻く課題が多様化し、学校が、組織的な対応に課題を感じる場面が多くなっているため、管理職を中心とした効率のよい情報共有のあり方や、スクールソーシャルワーカー等の支援人材を効果的に活用することが必要です。 <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修については、様々なキャリアステージに合わせた市独自の研修を実施することができ、それによって教職員の資質・指導力の向上を図ることができました。 <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修については、様々なキャリアステージに応じた教職員の資質・指導力の向上を図るため、今後も取組みを継続していきます。
<p>3 市民意識調査アンケート・子どもアンケート調査結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園教育における現在の取組みについては、「そう思わない」の割合が高いのは『学校園は地域に開かれ、地域ぐるみで子どもの教育が行われている』 問6 ・力を入れるべき教育施策や教育事業については、「必要である」の割合が高いのは『子どもと教員が向き合う時間を確保する』 問9 ・松原市の教育の課題については、「教職員の指導力の低下」の割合が15.8% 問14

<p>4 対処すべき 課題 (上記1、2、3 を踏まえ4を設定)</p>	<ul style="list-style-type: none">• 全国学力・学習状況調査児童・生徒質問紙調査では、授業の内容がわかる児童・生徒の割合については、特に中学校において、授業改善の効果が見られました。また、教職員研修については、様々なキャリアステージに合わせた市独自の研修を実施することができ、それによって教職員の資質・指導力の向上を図ることができました。子どもを取り巻く環境の変化に適切に対応できる教職員として求められる資質を育成するため、様々なキャリアステージに応じた教職員の資質・指導力の向上の継続が重要です。• 学校園教育における現在の取組みについては、“そう思わない”の割合が高いのは『学校園は地域に開かれ、地域ぐるみで子どもの教育が行われている』となっています。社会に開かれた学校づくりを推進していくため、学校等の情報の積極的な発信が必要です。
<p>5 課題に対応した 取組案</p>	

基本理念：人を育て、人が輝くための教育

教育目的（ビジョン）：未来を切り拓く「人間力」の育成

基本方針（3） 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します

案〔新〕「重点施策（1）コミュニティスクールの推進と学校園と地域の協働による家庭教育支援」についての課題

〔旧〕「重点目標 地域の総合的な教育力の向上を目指した事業の推進」

〔旧〕「重点目標 市民協働のしくみづくり」

<p>1 国、府、市の方向性及び社会動向</p>	<p><国 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校教育の質と多様性、包摂性を高め、教育の機会均等を実現する <ul style="list-style-type: none"> ・ICT の活用や関係機関との連携を含め、学校教育に馴染めないでいる子供に対して実質的に学びの機会を保障するとともに、地理的条件に関わらず、教育の質と機会均等を確保 ○連携・分担による学校マネジメントを実現する <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たし、相互に連携・協働して、地域全体で子供たちの成長を支えていく環境を整備 ・カリキュラム・マネジメントを進めつつ、学校が家庭や地域社会と連携し、社会とつながる協働的な学びを実現 ○社会構造の変化の中で、持続的で魅力ある学校教育を実現する <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的で質の高い学校教育を地方においても実現するため、高齢者を含む多様な地域の人材が学校教育に関わるとともに、学校の配置や施設の維持管理、学校間連携の在り方を検討 <p><国 中央教育審議会教育振興基本計画部会 参考資料10></p> <p>今後の教育政策に関する基本的な方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本社会に根差したウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育の推進 ○グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成 ○計画の実効性確保のための基盤整備・対話 <p><大阪府教育振興基本計画審議会 参考資料11></p> <p>基本方針4 多様な主体との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験を通じて学びを深め、学ぶ意義を実感するとともに、子どもたちに地域や社会の一員としての自覚と行動を促すよう、多様な主体と協働します。 ・学校が担う福祉的役割が十分発揮されるよう、専門人材と協働した「チーム学校」を構築します。 <p><松原市第5次総合計画></p> <p>基本方針6 学校・保護者・地域の連携により魅力ある教育環境をつくります</p> <p>施策15 魅力ある学校園づくり</p>
<p>2 市のこれまでの取組み成果と今後の対応 (参考資料：令和3年度実績教育に関する事務点検評価結果報告書)</p>	<p>【これまでの取組みのあらまし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度、令和3年度、中学校区フェスタは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止となりました。 ・子ども110番の家に係る登録件数は、おおむね維持することができました。 ・コロナ禍においてボランティア活動を円滑に進めていくためにスマホのLINE 活用講座を開催し、松原市生涯学習地域サポーター登録者のスキルアップを行いました。 ・子ども見守り隊の登録人数は、おおむね維持することができました。 <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・家庭の教育力向上については、子どもを育む教育コミュニティづくりを推進するため、学校・家庭・地域の3者協働による地域教育協議会において様々な取組みを行いました。 ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために活動の縮小を余儀なくされましたが、クリーンキャンペーンやコミュニティスクールの研修会等を行うことができました。 ・児童自己防衛力育成については、地域の協力と理解を得ながら、子どもたちの安全確保を行うことができました。 ・生涯学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民や他の部署からの派遣依頼が大幅に減少しました。 ・市のHPに松原市生涯学習地域サポーター登録者一覧を掲載し、活動を行いました。 ・児童・生徒理解活動（心の教育）の推進については、地域の方々に「子ども安全見守り隊」として、子どもたちの登下校の見守りを実施していただいている。登録人数は1,785名、概ね前年度数値を維持できました。 ・通学路については、毎年学校管理者、PTA、松原警察、道路管理者、教育委員会で合同点検を行っています。 ・生徒指導アドバイザー（警察OB）による青色防犯パトロールカーやバイクによる巡回を行い、子どもたちの安全確保に努めています。 <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・家庭の教育力向上については、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため実施できなかったことを受け、感染症対策をしたうえで中学校フェスタ等の開催方法を検討していきます。 ・児童自己防衛力育成については、子どもの通学路の「安心・安全」の観点から一定数の件数を確保する必要があることから、協力家庭や事業者を増やすことで、下校時に必ず開いている件数を増やしていきます。

(資料5)

	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習については、コロナ禍のため市民からの派遣依頼が少ない現状でしたが、今後も感染対策を実施し、サポーターの育成に努めます。 児童・生徒理解活動(心の教育)の推進については、地域の方々による「子ども安全見守り隊」について、高齢化による隊員の減少と成り手の不足が考えられますが、今後においても、継続して子どもたちの安全確保に努めていきます。 通学路の安全については、ハード対策はもとより、運転マナーの問題が課題となっています。 	
3 市民意識調査アンケート・子どもアンケート調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 『家庭の教育力』の現状については、“機能している”の割合が52.9%(H30:44.5%)、“機能していない”の割合が23.7%(H30:27.2%) 『地域の教育力』の現状については、“機能している”の割合が27.5%(H30:21.7%)、“機能していない”の割合が43.6%(H30:44.4%) 	問10
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の教育力を高めるために必要な取組みについては、「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」の割合が50.0%と最も高く、「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」の割合が47.4%、「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」の割合が43.0% 	問11
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育力を高めるために必要な取組みについては、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」の割合が58.8%と最も高く、「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」の割合が45.9%、「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」の割合が44.7% 	問12
	<ul style="list-style-type: none"> 学校に対しての協力については、「協力したいことはない」の割合が26.9%と最も高く、「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が25.1%、「自分が持つ知識・技能を教える」の割合が22.8% 	問15
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じるかについては、“感じる”の割合が64.3%、“感じない”の割合が34.7% 	子ども問31
	<ul style="list-style-type: none"> 住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じる内容については、「子ども安全見守り隊(登下校時の通学路での見守り)」の割合が82.9%と最も高く、「子ども110番の家」の割合が33.2%、「青色防犯パトロール隊(登下校時の青色灯付きの車による見守り)」の割合が19.8% 	子ども問32
	<ul style="list-style-type: none"> 学校の行き帰りにあぶない目にあったことがある児童・生徒の割合が33.1% 	子ども問33
4 対処すべき課題 (上記1、2、3を踏まえ4を設定)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中学校区フェスタの中止や活動の縮小がありました。『地域の教育力』の現状について、“機能している”の割合が27.5%と上がっている。学校に対しての協力については、「協力したいことはない」の割合が26.9%と最も高くなっています。子どもとともに地域も成長する仕組みとしても機能することができるよう、地域の主体的な参加を促進し、組織的・継続的な活動の推進が必要です。 子ども110番の家に係る登録件数や子ども見守り隊の登録人数はおおむね維持することができます。学校の行き帰りにあぶない目にあったことがある児童・生徒の割合が3割以上となっています。今後も子どもの登下校や放課後における安全確保を図るため、学校・家庭・地域が連携・協力して、子どもの見守り体制を充実させることが必要です。 	
5 課題に対応した取組案		

基本理念：人を育て、人が輝くための教育

教育目的（ビジョン）：未来を切り拓く「人間力」の育成

基本方針（3） 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します

「重点施策（2）青少年の健全育成の推進」についての課題

1 国、府、市の方向性及び社会動向	<p><松原市第5次総合計画> 基本方針6 学校・保護者・地域の連携により魅力ある教育環境をつくります 施策16 青少年健全育成の推進</p>	
2 市のこれまでの取組み成果と今後の対応 <small>（参考資料：令和3年度実績教育に関する事務点検評価結果報告書）</small>	<p>【これまでの取組みのあらまし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年指導員の年間活動日数はコロナ禍であったが工夫して活動を進めてきました。 <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、キャンプやスポーツ大会等が中止となりましたが、消毒ボランティアや広報活動等コロナ禍でもできる活動を工夫することができました。 <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成を図るため、様々な状況下でも工夫して活動ができるよう、取組みを継続していきます。 	
3 市民意識調査アンケート・子どもアンケート調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を高めるために必要な取組みについては、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」の割合が58.8%と最も高く、「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」の割合が45.9%、「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」の割合が44.7% 	問12
4 対処すべき課題 <small>（上記1、2、3を踏まえ4を設定）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年指導員の活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、縮小して活動を行っていましたが、コロナ禍でも工夫して事業の継続を行うことが必要です。 	
5 課題に対応した取組案		

基本理念：人を育て、人が輝くための教育

教育目的（ビジョン）：未来を切り拓く「人間力」の育成

基本方針（4） 郷土への愛着を深めるとともに誰もが学び続けられる機会を提供します

案〔新〕「重点施策（1）生涯学習の機会の拡充と図書館活動の推進」についての課題

〔旧〕「重点目標 生涯学習の充実と「智の拠点づくり」」

〔旧〕「重点目標 歴史・文化の振興」

<p>1 国、府、市の方向性及び社会動向</p>	<p><国 中央教育審議会教育振興基本計画部会 参考資料10> 今後の教育政策に関する基本的な方針 ○グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成 ○地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進 <松原市第5次総合計画> 基本方針6 学校・保護者・地域の連携により魅力ある教育環境をつくります 施策17 多様な生涯学習の推進 基本方針10 多様な魅力をつくり、効果的に発信することで行ってみたい・住んでみたい・暮らし続けたい地域をつくります 施策28 歴史・文化の保全・活用</p>
<p>2 市のこれまでの取り組み成果と今後の対応 （参考資料：令和3年度実績教育に関する事務点検評価結果報告書）</p>	<p>【これまでの取り組みのあらまし】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館などでの講座参加者数については、新型コロナウイルス感染症防止のため、前半の講座が中止となり、講座回数、参加人数を減らし開催した。講習後、自宅でも取り組める内容（運動、手作り、ペン字、脳科学など）を取り入れました。令和2年度より少しずつ参加者が戻ってきており、参加者の回復に努めてきました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館資料の団体貸出は、減少しましたが、感染症対策をしながら可能な範囲で団体貸出を行いました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため文化祭については、令和3年度は事業を中止しました。 指定文化財指定数については、指定のための諮問会議を予定通り実施し、令和4年度には指定が8件となる予定です。 歴史文化関連の講座などの実施回数については、感染拡大防止対策を取りつつ可能な限り講座を開始したことで、令和元年度をやや下回るものの一定回数実施することができました。 郷土資料館の入館者数については、新型コロナウイルス感染症の流行がやや落ち着いたため、入館者数は前年度比を上回る結果となりましたが、令和元年度の水準まで回復することはありませんでした。 <p>【取り組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習については、人との繋がりが希薄になる中で、外に出るきっかけとなるような学びの機会の提供を行った。 講習後、自宅でも取り組める内容（運動、手作り、ペン字、脳科学など）を取り入れました。 市民図書館管理運営については、設計者による建築設計の説明やエピソードを聞きながら建物や館内を巡る見学会、屋上を活かした夜間の天体観測会などを実施し、多様な事業展開を行うことで幅広い年齢層へ図書館のPRをすることで図書館利用の充実につなげました。 コロナ禍で配布できていなかった小学2年生と、小学1年生への読書通帳の配布を行い、児童への図書館利用環境も充実させるとともに、コロナ禍でも読書が楽しめるよう図書館休館中の宅配サービスを実施しました。 4か月検診で絵本の配布、あかちゃんからのおはなし会やえほんのゆりかごなど乳幼児向けのおはなし会を引き続き実施しました。 調査・保存については、天美我堂の善正寺で文化財総合調査を実施しました。 来迎寺紙本著色融通念仏縁起絵巻を市指定有形文化財に指定し、有形文化財1件の市指定について松原市文化財保護審議会に諮りました。 文化振興については、文化財保護の普及啓発のため、市ホームページにおいて「まつばら文化財デジタルアーカイブ」として二次利用可能な形でデータ公開を開始しました。 新型コロナウイルスの感染拡大防止措置を図りながら、可能な範囲で展示や講座を実施しました。 <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習については、5公民館を使って講座開催を予定していましたが、三密を避けるためまつばらテラス（輝）での活動が多くなりました。各地域にある5公民館での開催や夜間、休日の講座など感染防止に努めながら市民のニーズにこたえるため、今後も講座開催を継続していきます。 市民図書館管理運営については、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、安心安全な読書環境を提供し、今後も積極的にPR活動を継続していきます。 市民図書館管理運営については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、乳幼児向け事業を実施していけるよう工夫します。 ブックスタート事業については、現状はえほんの配布のみにとどまっていますが、今後は、保健センターに司書が出向き、図書館や絵本の紹介が行えるよう取組みを継続していきます。 文化振興については、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安全に事業を開催できるよう取組みを行います。

(資料5)

	<ul style="list-style-type: none"> 市内には顕在化していない文化財が埋もれているため、引き続き文化財総合調査を実施し、文化財の新たな発見に努め、市民への周知と指定及び保存措置を図ります。 今後、オンラインで公開を開始した文化財のデータについて、学校教育との連携など具体的な活用方法を検討します。 	
<p>3 市民意識調査アンケート・子どもアンケート調査結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習・文化活動の現状については、「活動（参加）した」の割合が高いのは『趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）』『職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）』『パソコン・インターネットに関すること』 生涯学習・文化活動の希望については、“してみたい”の割合が高いのは『趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）』『パソコン・インターネットに関すること』『職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）』 	問16
	<ul style="list-style-type: none"> 学びなおしについては、「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が43.6%と最も高く、「今後学習してみたい」の割合が19.0% 	問17
	<ul style="list-style-type: none"> 松原市の生涯学習・文化の現状については、『(全般)松原市の生涯学習・文化環境は充実している』において、“そう思う”の割合が26.3%（H30：34.7%）、“そう思わない”の割合が24.3%（H30:22.9%） 	問18
	<ul style="list-style-type: none"> 松原市の生涯学習・文化活動をより充実させていくために必要な取組みについては、「コンサートや演劇などの機会の充実」の割合が37.1%と最も高く、「文化・芸術を気軽に学べる教室の開催」の割合が31.9%、「文化・芸術施設や設備の充実」の割合が23.4% 	問19
<p>4 対処すべき課題 (上記1、2、3を踏まえ4を設定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館などでの講座、図書館資料の団体貸出、文化祭、歴史文化関連の講座、郷土資料館の入館者数などに影響がでましたが、さまざまな工夫をしながら事業の継続を行っています。今後も、多くの市民が学習活動を継続できるように、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置を図りながら、事業の継続を行うことが必要です。 生涯学習・文化活動の希望については、“してみたい”の割合が高いのは『趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）』『パソコン・インターネットに関すること』『職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）』となっています。生涯学習・文化活動をより充実させていくために必要な取組みについて、「コンサートや演劇などの機会の充実」「文化・芸術を気軽に学べる教室の開催」「文化・芸術施設や設備の充実」などとなっています。学びなおしについては、「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が43.6%と最も高く、「今後学習してみたい」の割合が19.0%となっています。多くの市民が生きがいを持って心豊かに暮らしていけるよう、市民のニーズに合った内容を行うことが必要です。 来迎寺紙本著色融通念仏縁起絵巻を市指定有形文化財に指定し、文化財保護の普及啓発のため、市ホームページにおいて「まつばら文化財デジタルアーカイブ」として二次利用可能な形でデータ公開を開始しました。今後も、引き続き文化財総合調査を実施し、文化財の新たな発見に努め、市民への周知と指定及び保存措置が必要で 	
<p>5 課題に対応した取組案</p>		